

My Logoの使い方



● My Logo

あなたのBirth Colorと人生に必要な「あなたを守る5色」で構成されています。今の時代、人生を豊かにするあらゆる手段があなたの周りに溢れています。「何に気づくか」「何を選ぶか」情報をどう活用するかで人生は変わります。色を使い、あなたに必要なものだけが必要とする形で集まるように診断設計されています。デザインされた線は、あなたに害を与えようとする不必要なモノを寄せ付けないようにします。

The SUN Quality
視覚色彩心理研究所

● 使用用途

My Logoを名刺のデザインや、My Logoの「色」をインテリアの配置に活用してください。人それぞれ違うように、人それぞれ色と方位の関わり方が違います。「色」方位を行なうことで自分専用カスタマイズされた環境作りが簡単に行なえます。My Logoを正面にして①の色が北になるように部屋の中心部に置きます。該当する色のモノを部屋の角に配置してください。自室、寝室など、あなたの空間はとても大切です。家の中はもちろん、職場環境も整えてください。職場では自分のデスク上に My Logo の色の小物を配置したり、また各色のシールを貼るだけで簡単に自分専用の空間作りができます。小物やシールを置くことが難しい場合は、My Logo を方位に合わせてデスク上に置くことでも、即プライベート環境ができます。旅先のホテルでも実践できます。いつでも、どこでも、プライベート環境を自分の色でカスタマイズすることができます。家族みんなのリビングに、家族それぞれの色を配置することで家族力が高まります。

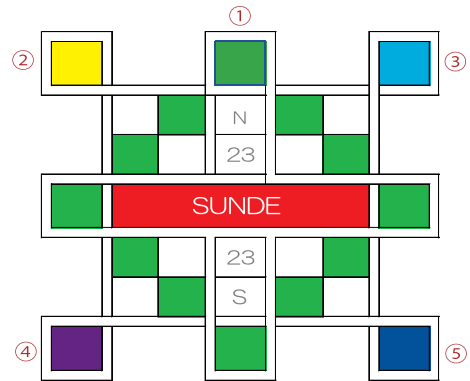
My Logoは、情報、お金、美容、健康、心の安定など、とても大切な事柄に対して「あなたの色」で、あなたを守るようにデザインされています。この守ると言うことは、城壁のようにあなたを外界から遮断するものではありません。不要なものは意識しなくても避けられるというイメージです。必要なものは流れ込むように、不要なものは寄せ付けないように「色と線」で作られています。お部屋にMy Logoを置き、色方位を実践してください。いつもと同じ部屋が自然と居心地良く感じられます。職場のデスク上に置いて実践してください。自分の環境が整いストレスを受けやすい職場がなぜか、過ごしやすい快適な環境に整ってきます。環境を整えることにより、ストレスに強く、安定した力を発揮できる「自分力」が、備わってきます。

● 名刺のデザインとして

このMy Logoを名刺のデザインとして取り入れることもお勧めです。名刺は自分を伝えるツールです。第一印象に自分の色を使うことで、名刺交換が最大限に自分をアピールする瞬間になります。何をどう伝えようと効果的か、名刺交換の時に発するあなたの波長が大切です。名刺の色の使い方が変わります。

● My Logoの数字

姓と名それぞれを、チベット数秘学理論と視覚色彩心理学理論を融合させた理論に基づく数秘色変換システムsQ13で算出した2つの数字、「姓数」「名数」が入っています。これらの数字はあなたにとってとても意味のある大切な数字です。意識して使用してください。携帯電話の番号に、この数字を入れる。メールアドレスに、この数字を入れる。いろいろな、番号を選ぶときなどにこの2つの数字、もしくは、2つの数字の合計数を使用して下さい。



● デザインの特徴

Birth Colorを中心とし、①情報の色がBirth Colorを取り囲むように配置されています。情報が溢れる「今日」、必要な情報、不要な情報を選別してあなたを守るように「あなたを守る色」が配置されています。My Logo を正面に見て、Nが「北」、Sが「南」になるように、①～⑤の色がBirth Color を、取り囲むように①北、②北西、③北東、④南西、⑤南東に配置されています。あなたに優良な「人」「物」「情報」が集まってくる、あなた専用の色が配置されています、このデザインの色は人それぞれ違います、約100億通り以上の中からあなた専用診断して作成いたします。

● あなたを守る①～⑤の色

- ① 情報に関わる色
- ② お金の流れを良くする色
- ③ 良質な睡眠とアンチエイジングの色
- ④ 健康に大切な太陽のエネルギーの色
- ⑤ プレハマイをなくし安定を築く色

● COLOR PASSPORT と My Logo の違い。

COLOR PASSPORTは、自分をコントロールする色です。自分のメンタルコントロール、自己表現、「対人に対して自分から発信する色」です。一方、My Logoは、周りから自分へ向かってくるものの中から自分に有効で優良なモノだけを的確に選別できるようにする、「自分を守る色」です。

COLOR PASSPORTと My Logoは、使用目的が異なりますので、「色の算出方法」も「表示される色」も異なります。この2つを持つことで「自分から発信する色」「自分を守る色」「攻める色」「守る色」2つを持つことができます。